

労働講座感想文

今回の労働講座は、昨年に引き続き「各本部・支部の書記長に準じるクラス」ということで、今年も参加させていただきました。私は書記長ではありませんが、今後の沖縄地方本部を支えていく執行委員として、まだまだ勉強不足な部分が多く、今回参加させていただきました。

労働講座では、前参議院議員・森屋隆さんによる政治情勢の講義から始まりました。内容は非常に難しい部分も多くありましたが、帰ってからも政治について積極的に勉強していかなければならないと感じました。

鈴木委員長らの全港湾の歴史についての講義では、全港湾立ち上げからの長い闘いの歴史は、とても1時間で語り尽くせるものではないと感じました。沖縄地本にも全港湾の歴史に関する本があるか確認し、講義内容を思い返ししながらさらに学んでいきたいと思えます。

また、松永書記長による産別・事前協議制度の講義では、「事前協議は最後の要」であることを改めて痛感しました。職域を守るためにも、事前協議制度がなければ、特に今の時代は非常に厳しい状況になっていたと思えます。まだまだ勉強することばかりだと感じました。

そして、全港湾といえばやはり懇親です。全国の仲間とさらに打ち解け、横のつながりを広げることができたことを大変嬉しく思いました。

沖縄地方本部執行委員 照屋竜太